

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	第2 外国語 C I (中国語)	
科目基礎情報							
科目番号	0062		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	即練！使える中国語 上智大学中国語教材作成チーム						
担当教員	康 思思						
到達目標							
1、中国語の発音を身につけ、日常常用単語を覚える;2、日常常用会話を身につける;3、中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解し、中国人との付き合い方を見つける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
会話		日常常用会話ができる		簡単な日常常用会話ができる		日常常用会話ができない	
理解		中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解し、中国人との付き合い方を見つけられる		中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国をおおむね理解できる		中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
B JABEE D							
教育方法等							
概要		中国語の発音と基本的な文法についての勉強を通して、中国語で基本的な会話を身に付ける一方、中国の文化、風習を理解する。					
授業の進め方・方法		前期中間試験まで発音を基本とした授業を行う予定である。発音の習得を進めると同時に、単語と簡単な挨拶を少しずつ増やしていく。後期は日常会話でよく使われている文法を中心に進めたいと思う。文法を復習しながら、会話の練習も行う。会話とヒアリングの練習も成績評価の一環として扱うので、普段からレベルアップのための努力と授業への積極的な参与を要求する。					
注意点		事前学習 次回の授業範囲を予習しておくこと。事後学習 授業中に配布された課題を行うこと。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 第一課 声調・単母音・練習問題			単母音の発音の基礎を身につける。	
		2週	複母音 練習			複母音の発音の基礎を身につける。	
		3週	子音 練習			子音の発音基礎を身につける。	
		4週	鼻母音 練習			鼻母音の発音の基礎を身に付ける	
		5週	発音を総復習			すべての発音を身につける。	
		6週	挨拶表現			基本の挨拶を身につける。	
		7週	第二課① 人称代名詞 動詞述語文 “か”の疑問文			自分の出身、身分を言うことができる。	
		8週	復習・確認			復習・確認	
	2ndQ	9週	中間試験				
		10週	テスト直し 第二課 ② 否定文 副詞“也” “都”			名前を言う、尋ねることができる。	
		11週	挨拶と呼びかけ			家族の紹介ができる。。	
		12週	第三課 ① 指示代名詞 形容詞述語文			友達を紹介することができる	
		13週	第三課 ② 疑問詞疑問文 所在を表す“在”			物事の場所を尋ね、答えることができる。	
		14週	復習・確認			復習・確認	
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解説				
後期	3rdQ	1週	第四課 ① 連動文 語気助詞“吧”			相手を誘うことができる。	
		2週	② 願望也意思を表す“想” “要”			食べたいものを尋ね、答えることができる。。	
		3週	中国料理のマナー			中国料理のマナーを分かる	
		4週	第五課 ① 動詞“喜” 選択疑問文総合練習			趣味について話す事ができる。好き嫌いが言える。	
		5週	第五課② 所有を表す“有” 名詞述語文			持ち物を紹介できる。	
		6週	前置詞			どこで何をすることが言える。	
		7週	指示代名詞と方位詞 存在を表す“有”と所在を表す“在”			ものによって量詞の使い分けができる。	
		8週	“いつ”の言い方 復習			時間や時刻の言い方を身につける。。	
	4thQ	9週	テスト				
		10週	テスト直し 量詞 第六課 100以上の数の数え方			買い物に行ける	
		11週	量詞			物を数えることができる。	

	12週	指示代名詞と方位詞	場所を紹介することができる。
	13週	存在を表す“有”と所在を表す“在”	物がある場所が言える。
	14週	中国の通貨	値段の言い方ができる。
	15週	期末試験	
	16週	答案返却・解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	定期試験	小テスト	課題・提出物・ノート	出席 授業態度	合計
総合評価割合	70	10	10	10	100
配点	70	10	10	10	100